

☆登山とハイキングの  
普及と向上に全力をあげよう  
☆力をあわせ何としても  
300名会員を回復しよう

# ろうさんKAGAWA 県連盟だより

香川県勤労者山岳連盟  
No.54-9 2020. 11. 30  
高松市松縄町1005-4  
電話：087-865-7521

## 第20回全国登山者自然保護委員会in浜松に参加して

令和2年11月7日(土)～8日(日)  
静岡県立三ヶ日青年の家にて  
善通寺山の会：安井

基調講演は登山家の大蔵善福氏による「消える氷河・山岳異変！温暖化を止めるのが人間の知恵」がテーマの講演でした。

大蔵氏は北アメリカのデナリにて30年間(1990～2019)の気象観測実施した人で、今年から南信濃にて自給自足の生活を実施しているそうです。身近に起きている異変として、クマゼミが東北に発生し、マツタケが東北にて豊作になっているそうです。



また、南アルプスでは山ビルが増えており、今年20回吸われたとのこと。南アルプスの山ビルは、人の足から頭まで1分で移動し、1回吸血すると、以後血を吸わなくても1年間生存するそうです。筆者は何度も南アルプスに入っていますが、山ビルに遭遇したことはなく、これも温暖化の影響でしょうか。一日目の講演の後、食事・入浴、懇親会と続きました。

筆者は、感染のリスクを避けて、食事の後は自分の車に戻り、晩酌をしてから車中泊としました。講演会と食事の会場となった三ヶ日青年の家側は、感染リスクに対応したものとなっていました。懇親会は和室で大人数での実施となっており、主催者側の感染リスク意識が低いことに驚きました。東京を初めとした人口過密地域での感染拡大が広がっていることにも納得がいくものでした。

二日目は、山筋ゴゴ体操をした後、地方連盟の報告があり、その後、全体まとめ・自然保護集会アピール文の採択後解散となりました。

## 第8回女性交流登山 坂出：城山ハイクに参加して

観音寺あけぼの山の会 黒河

香川女性交流登山も今年で第8回を迎えた。今年、コロナ禍のため会合同登山は辞め、同一日にそれぞれの会で登山することとなった。これまで続けてきた女性交流の灯火を途絶えさせてはいけないとの熱い思いからである。我が会では、横田CLのリーダーシップのもと、星川SL、大沢SLが緻密な準備をしてくれた。従来の女性交流登山に引けをとらない、それ以上に学ぶことが多い内容であった。

まず、3つの班に分けて、それぞれの班で地図読みを行った。私の班は、地図を整地することで現在地確認をする方法で行った。班によっては、大矢印を目的地に合わせる方法も行ったようである。城山山頂では、山座同定をコンパスを使って行った。

次に、所々のポイントで、大沢SLから歴史や地質、巨大遺跡の話聞いた。女性交流登山で初めての試みであり、とてもよかった。大沢SLの情熱が伝わってきた。7世紀後半に作られた山城遺跡、韓国ドラマが好きな私は白村江の戦いはよく知っている、その頃できた山城である。歴史が繋がった面白さ。登山道にも石塁の跡が、、明神原には二重に石塁や土塁が巡り車道がある。ホロソ石は、コの字型に切り取られていて、城門の柱を立てる為の基礎ではないかと言われている。その頃のことを想像しながら歩くのは、いつもの登山とちがう楽しさが味わえた。

それから、星川SLによる山筋ゴゴ体操の講習。我が会女性アスリートと私は呼んでいるが、さすがである。さらりと教えてくれるが、どこの筋肉に効果があるか説明してくれ、何とカラダに効いたことか。もし、毎日取り組むと、私たちのカラダが変わること間違いなしだと思う。1日15分で、百歳まで登山できるかもしれない。

最後に、横田CLによる簡易ハーネスの仕方、危険箇所



講習。何度も機会があるごとに練習することが、身に付ける鍵だと思う。私も、女性交流のおかげで、多くの機会を得ることができた。横田CLは、手際よく危険箇所にはザイルを張ってくれ、私たちに練習の機会を用意してくれた。

今日のために事前にたくさんの用意をしていただいたCL、SLのみなさん、本当にありがとうございました。

《反省会より》

- ☆高松労山 大川山 女3・男6
- ☆しわく 虎丸山 女6・男2
- ☆善通寺 紫雲出山 女6
- ☆あけぼの 城山 女10・男7

無線通信で交流できた。山域を再考すれば全体での交信が可能だったかもしれない。各会、内容は充実していた。参加者の満足度も高かった。県連の各会が参加できるような働きかけが必要か。来年も状況を見ながら、今年のような日帰り登山の形態で計画したい。(丸亀しわく山の会：土田)

**県連第8回理事会の報告**

2020年11月18日 善通寺市民会館 11名+2

A)各会の活動報告/会員数/山行状況など

《300会員を早期に回復しよう!》 2020.11

	3ヶ年 増減	54総会 会員数	11月 増減	本年度 累増減	11月 会員数	次期総会 目標	総会 残数
高松労山	+3-8	19		-3	16	25	9
高松H	+5-10	6		-2	4	10	6
山歩会	+11-5	26		+12-6	32	30	☆
五色の峰	+4-5	6	+1	+5	11	10	☆
坂出H	+12-15	26	+1	+3-17	12	20	8
しわく	+20-11	56		+9-4	61	60	☆
善通寺	+17-20	57	+1-1	+12-5	64	65	1
あけぼの	+20-5	45		+1-4	42	46	4
観音寺H	+6-8	25		-1	24	30	6
県合計	+98-85	266	+3-1	+42-42	266	300	34

11月の会員入会は、五色①(男4?知人)、坂出①(女44元会員)、善通寺(女60FB)で+3-1。今期は+42-42でトントンとなり266名。昨年同時期で+5の増勢を維持している。

B)事故やヒヤリハットについて ※会外

- ※① 10/25(日) 笹ヶ峰で遭難騒ぎ
- ※②. 11/5(木) 西黒森で広島県女性67才遭難、11/9山頂北西300mの岩肌で発見、滑落・死亡。

C)この間の県連諸活動について

- ①10/23 大滝山問題で木村県岳連会長との懇談  
加藤理事から報告あり。岳連と協議して、県に登山道再開の要望書を提出する。他の団体にも呼びかけて要望を県に上げていく。
- ②10/27 讃岐山脈ロングトレイル実行委員会  
各会で分担し、讃岐山脈ロングトレイル報告書をまとめる。分担山域を確認。  
○次回、12月4日(金)善通寺事務所 19:30~
- ③11/13 県東部会員倍加委員会② 組織部  
高松労山3名、山歩会4名、高松H1名Web参加  
登山講座を少人数でも開催していく。  
○次回、12/18(金)県東部会議 19:00~

D)今後の諸活動や行事などについて

- ①ヤングメンバーズクラブの立ち上げ  
◎各会で中核になれるような人の集まりを持ってはどうか。とにかく一度集まり相談したい。  
☆12月8日19:30~各会の担当者が集まって意見を聞く。善通寺事務所にて。
- ②労山会員証の更新/2021年カレンダーの配布と集

**11/29 四国ブロック協議会  
労山基金説明会**

11月29日(日)、午前中の四国ブロック協議会に続き、午後は全国連盟主催の「労山基金説明会」が道の駅ことひきの観音寺市総合コミュニティセンターで開催された。全国連盟から基金委員会臼井委員長、今野善伸理事、木山委員、小池スタッフの4名により説明があった。参加者は、香川10名、徳島7名、高知3名Web1名、愛媛2名Web1名で合計24名。

「基金」の歴史と理念がまず説明され、他の保険との違いが「互助」をキーワードとして強調された。

他の保険の普及が進む中で、「基金」の改善も着実に進んでいることがよく理解できた。また、安全登山や登山者教育に1500万円も支給していることの意義は大きい。

また、事故への不支給を無くするためにも、1カ月以内の事故報告が重要であることを再認識した。



各会の山行一覽とこれからの山行予定 ◎例会山行 ☆個人山行

Table with columns for meeting name, date, mountain name, C/L, attendance, date, mountain name, date, mountain name. Rows include 高松, 高八, 山歩会, 五色の峰, 坂出八, 丸亀しわく, 善通寺, あけぼの, 観音.



十一月 県連行事

- ☆04日(金)19時半 讃岐山脈ロングトレイル実行委 善通寺
☆08日(火)19時半 ヤングメンバーズクラブ打ち合せ 善
☆16日(水)19時~ 第9回理事会 善通寺市民会館
☆18日(金)19時半 県東部会員倍加実行委③